



「ヨコハマ市民まち普請事業 平成30年度整備 成果報告会」整備成果報告書

①整備提案名	「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備	
②提案グループ名	美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ	
③整備した施設の概要 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百段階段カラーリングおよび標高プレート・標高タイル設置 ・ 百段階段下コミュニティスペース整備 ・ たまプラ遺産プレート設置 ・階段上スツール設置 	
④整備した場所 (町名又は丁目まで記入)	横浜市青葉区美しが丘2～3丁目	
⑤整備完了年月	2019年3月	
⑥整備提案を応募した動機、きっかけは何でしたか？(地域のニーズや課題、整備の必要性など)	<p>開発から50年を経て老朽化した既存の公共施設（百段階段・遊歩道）の価値を見直し、付加価値をつけてリファインすることにより、「わざわざ歩きたくなる道」を実現しまちへの愛着を醸成。</p> <p>若年世代への地域活動への意識づけにより、停滞しがちな地域活動への参加を促進、活性化を図る。</p>	
⑦平成30年度の活動内容、実際の整備の進行スケジュールを記入してください。 (おおよその時期と活動内容や工事などの内容を記入してください。)	<p>～2018年 住民アンケートの実施</p> <p>1月 2次コンテスト通過</p> <p>2月～10月 整備のデザイン・計画・行政との調整</p> <p>3月 小学校卒業式「花の100段階プロジェクト」</p> <p>6月 小学校50周年式典 お祝いメッセージの階段アート</p> <p>7月 中学校1～2年生にまちの歴史・まちづくりの授業（6コマ）</p> <p>～9月 階段カラーリングデザイン募集・選定・WSへの参加者募集 カラーリングデザイン・整備工事計画お披露目会 WSの実施方法企画</p> <p>10月 WS準備 草刈り・清掃・用具準備</p> <p>11月 階段カラーリングワークショップ4回（のべ200名参加）</p> <p>12月 百段階段プレート募集による協賛金集め</p> <p>2019年1月～ 土木工事（階段下コモン、ベンチ、スツール、照明、 たまプラ遺産プレート・標高プレートやタイル設置）</p> <p>4月 お披露目「百段階段のぼり初め式」参加200名</p>	

	<p>通年 まち歩きツアーの実施 5回</p> 
<p>⑧整備工事では、地域でどのくらい費用や労力を負担しましたか？</p>	<p>費用：約 50 万円（寄付・協賛金） 労力：・毎月 1～2 回の運営会議 ・整備工事に伴う行政との調整・道路占用許可等の手続き ・カラーリングワークショップ（4 回開催）参加者 のべ 200 人 ・イベント企画・デザイン・設計・工事調整・HP 制作</p>
<p>⑨整備した施設はどのように維持管理・運営していますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り、清掃 年 2 回 まち歩きツアー時ゴミ拾い ・ カラーの一部退色部については、本年補修予定
<p>⑩整備した施設の現在の利用状況、活用の様子などを記入してください。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ まち歩きツアーの集合場所 ・ 見学受け入れ（他地域・自治会のイベントなど） ・ コモンスペースでは子ども達が宿題をしていたり、待ち合わせ場所になっていたり、夜にはベンチでワインを傾ける人も。 ・ 日常の使用も確実に増加している。 ・ バスを待つ人の利用（雨避けなど） ・ 新聞・TV・写真集（日体大女子サッカーチーム）の撮影

<p>⑪整備をきっかけに、地域のコミュニティや地域のまちづくり活動がどのように広がりましたか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらたな活動メンバーの増加 ・ まち歩きツアーへの参加者増加 ・ 次世代郊外まちづくりとの連携が深まり、デジタルサイネージ スマートフォンアプリの開発がすすむなど、地域全体との情報共有が可能になりつつある。 
<p>⑫まち普請に取り組んで良かったことは何ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが喜んだこと ・ 形になったことで美しが丘のまちづくりへの理解が深まり、あらたな助成金がとれるようになったこと（活動継続の基盤ができた） ・ WGメンバーの結束が強くなったこと、新たなメンバーが増えたこと。 ・ これまでまちづくりを担ってきた先人と今回WGに参加した若い世代との間に相互のレスペクト・理解が深まったこと。
<p>⑬まち普請に取り組んだ中で、苦労したことは何ですか？</p>	<p>特にありませんが、強いていえば以下の2点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテスト時、自分たちの意図がうまく伝わらなかったこと ・ 行政への提出書類の作成
<p>⑭これからの展望は何ですか？</p>	<p>特別な歴史遺産があるわけでもないニュータウンとして造成されたまちが、独自のアイデンティティーを持ち、若い世代にとっての「ふるさと」となっていくために、物心両面にアプローチしていきたい。</p> <p>物：たまプラ遺産プレート設置数の増加、遊歩道の整備、地域に同様のデザインされた空間を増やすことでまちの一体感を強化</p> <p>心：まち歩きツアーの継続・発展 若い世代にまちづくりへの関心をもってもらおう WSへの参加呼びかけにより小学生とその家族（子育て世代） 中学生へのまちの歴史、まちづくり授業の継続</p>

ご協力ありがとうございます！